

令和4年5月27日

各位

会社名 フリージア・マクロス株式会社  
代表者 代表取締役 奥山 一寸法師  
(コード番号 6343 東証スタンダード)  
問合せ先 会計責任者 村田 幸生  
電 話 03-6635-1833

**営業外収益（持分法による投資利益）の計上及び令和4年3月期業績と前期実績の差異に関するお知らせ**

当社は、令和4年3月期において、持分法による投資利益を計上いたしましたのでお知らせすると共に、当期実績と前期実績の差異を下記のとおりお知らせいたします。

1. 持分法による投資利益の内容

当社は、持分法適用関連会社である技研ホールディングス(株)（証券コード：1443）、ソレキア(株)（証券コード：9867）、(株)協和コンサルタンツ（証券コード：9647）及び(株)ラピーヌ（証券コード：8143）の決算報告に基づき当期において、持分法による投資利益 565 百万円を計上いたしました。

2. 令和4年3月期業績と前期実績の差異

令和4年3月期業績と前期実績の差異（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前期実績（A）	百万円 6,788	百万円 801	百万円 583	百万円 △308	円 銭 △6.86
当期実績（B）	7,011	1,102	1,684	481	10.70
増減額（B－A）	223	300	1,100	—	—
増減率（％）	3.3	37.5	188.8	—	—

（当期業績と前期実績の差異の理由）

売上高は7,011百万円と前年同期に比べ223百万円（3.3％）増加と新型コロナウイルス感染症の影響による不透明な事業環境が続く中、ほぼ前年同期並みの水準を維持いたしました。また、より健全な財務基盤を構築するため、固定費・変動費の見直しを行った結果、営業利益は1,102百万円と前年同期に比べ300百万円（37.5％）増加し、この営業利益の増加及び持分法適用関連会社の業績の回復を受けて、経常利益は1,684百万円と前年同期に比べ1,100百万円（188.8％）増加、親会社株主に帰属する当期純利益は481百万円（前年同期親会社株主に帰属する当期純損失△308百万円）となりました。

以上